

限定免許に関するアンケート 調査の分析結果について

1. 限定免許に関するアンケート調査の回答状況

- 70歳以上で運転を継続している高齢者を対象にアンケート調査を実施し、限定免許*に関するニーズ等について分析を行った。
- アンケート調査の回答状況は以下のとおり。

- **実施教習所：**

- 高齢者講習等で教習所等に来訪した高齢運転者**

- **実施時期：平成30年7月27日（金）～8月24日（金）**

- **調査手法：書面アンケート**

- **有効回答数：2,037件**

* 「限定免許」制度を、“運転者本人の申請により、運転できる時間、場所、車両等を限定する制度”と定義してアンケート調査を実施した。

2. 回答者の属性

- 本調査における回答者の属性（年齢、性別）は以下のとおり。

回答者の年齢

年齢層	回答者数（割合）
69歳	56人（2.7%）
70～74歳	648人（31.8%）
75～79歳	845人（41.5%）
80～84歳	388人（19.0%）
85歳以上	89人（4.4%）
無回答／無効回答	11人（0.5%）
小計	2,037

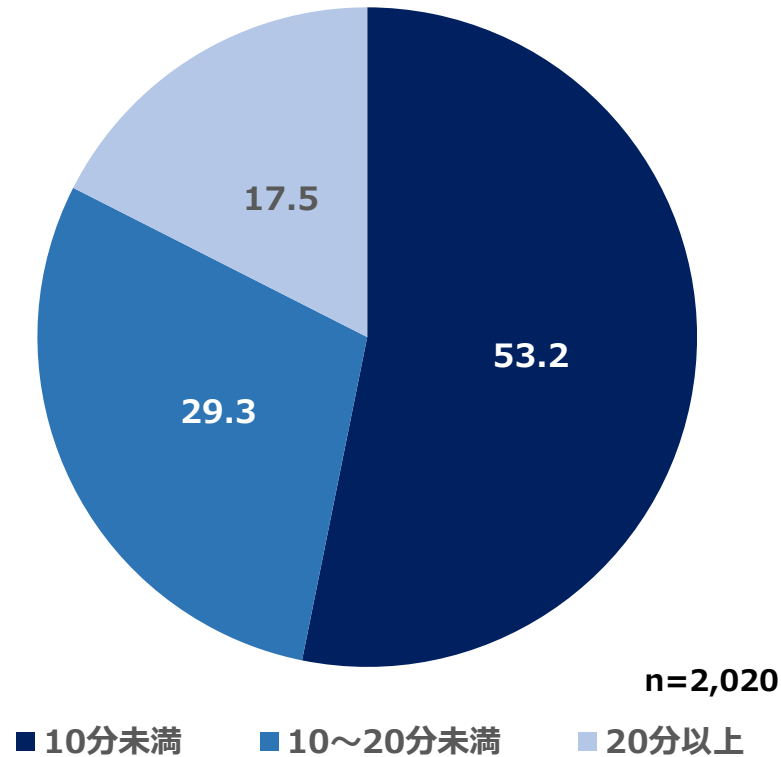
回答者の性別

性別	回答者数（割合）
男性	1,425人（70.0%）
女性	611人（30.0%）
無回答／無効回答	1人（0.0%）
小計	2,037

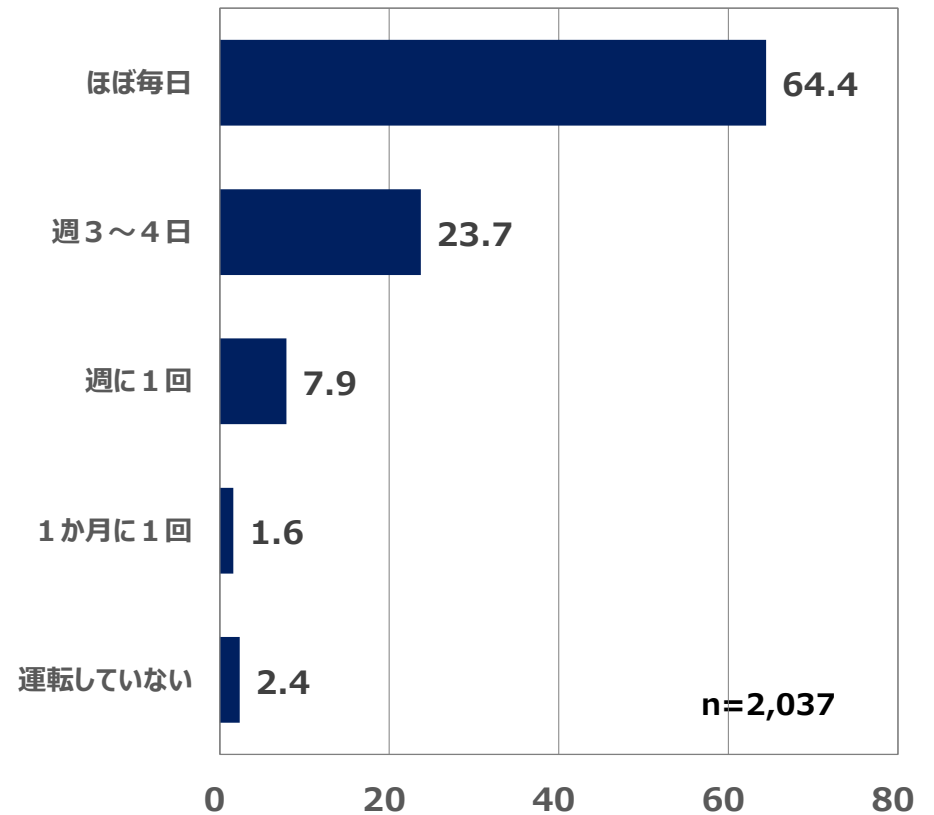
2. 回答者の属性

- 本調査の回答者の公共交通機関への移動時間、及び普段の運転状況は以下のとおり。

普段利用する駅・バス停までの徒歩所要時間



最近1ヶ月の運転頻度

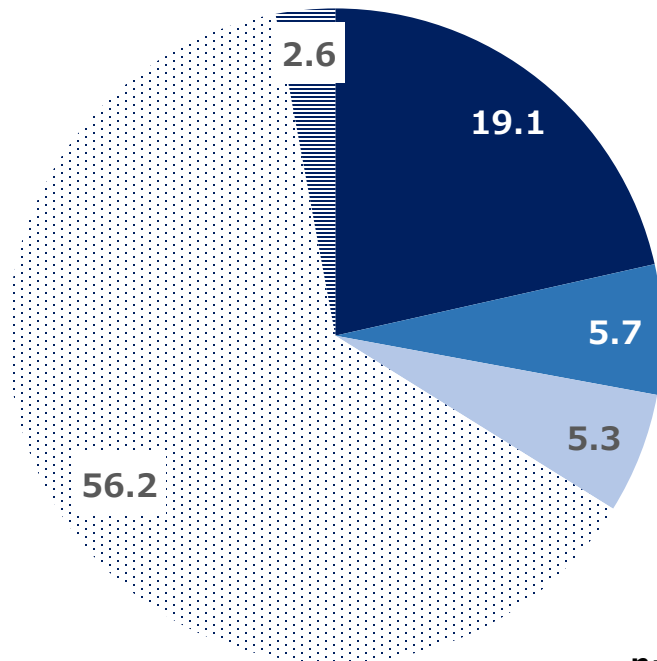


2. 回答者の属性

- 本調査の回答者の運転する主な目的、及び認知機能検査の結果は以下のとおり。

運転をする主な目的

Q:あなたが運転をする主な目的は何ですか

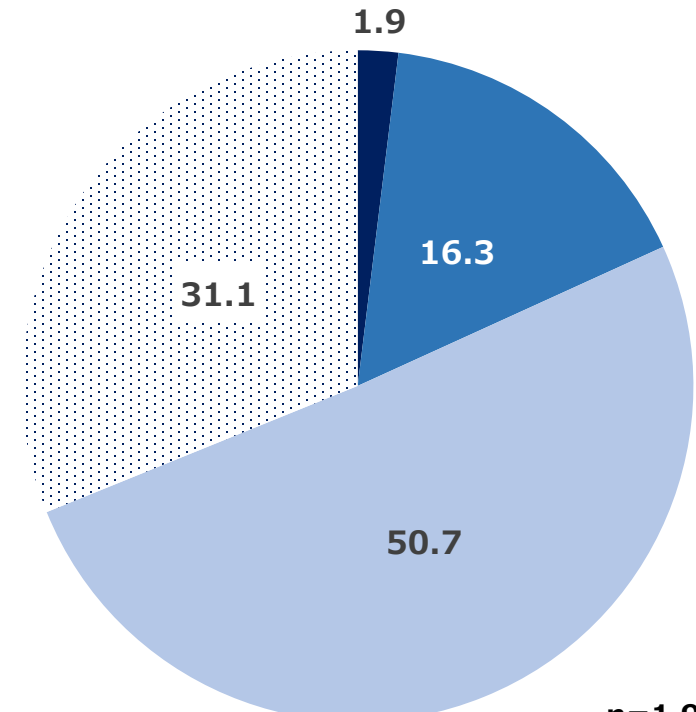


n=1,810

- 仕事 (農業や商売等で使う)
- 通勤 (職場への往復で使う)
- 趣味 (ドライブ等)
- 生活 (送迎、通院、買物等)
- ≡ その他

認知機能検査の結果

Q:最近受けた認知機能検査の結果は何ですか



n=1,956

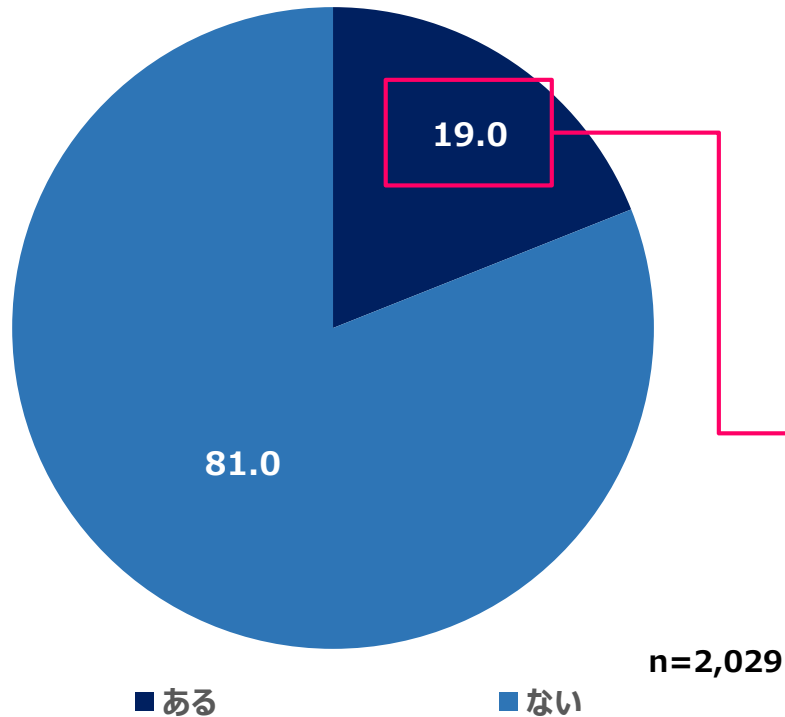
- 第1分類 (認知症のおそれがある方)
- 第2分類 (認知機能が低下しているおそれがある方)
- 第3分類 (認知機能が低下しているおそれがない方)
- 認知機能検査を受けたことがない

3. 運転免許の自主返納について

- 自主返納を考えたことがあるかを尋ねたところ、回答者の19.0%が考えたことがあると回答した。
- 考えたことがあると回答した方に対して、自主返納をしなかった理由を尋ねたところ、「車がないと生活が不便だから」との回答が最も多く75.1%であった。

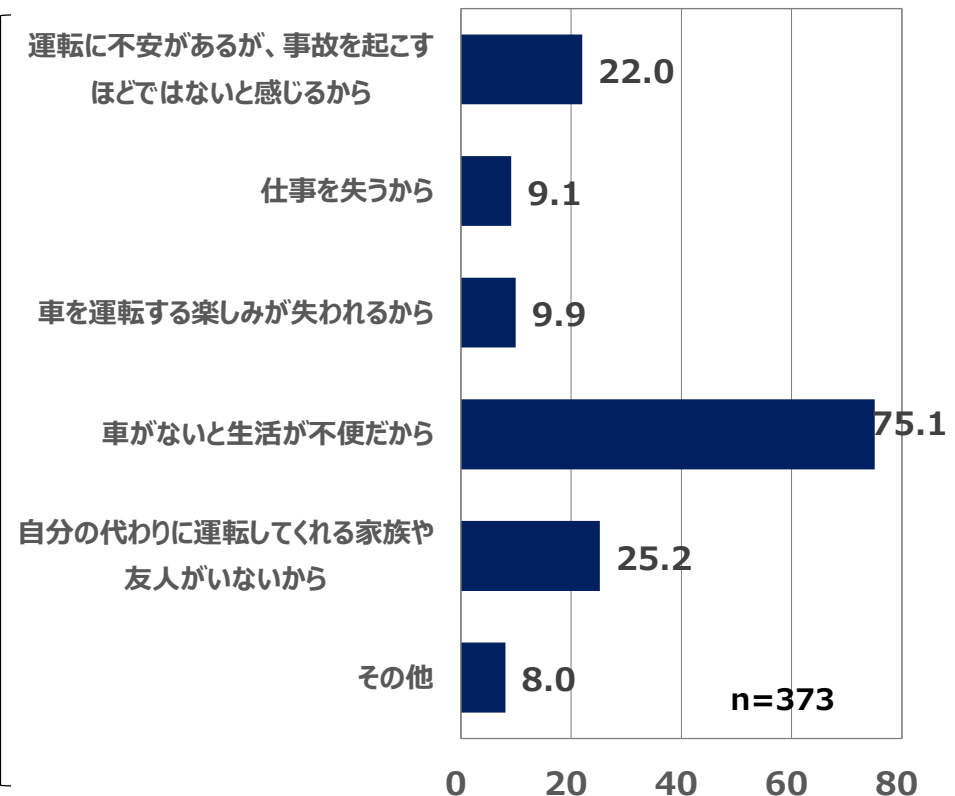
自主返納を考えたことがあるか

Q:今までに、運転免許証の自主返納を考えたことがありますか



自主返納をしなかった理由

Q:運転免許証の自主返納を考えたものの、結局自主返納をしなかったのはなぜですか（複数回答可）

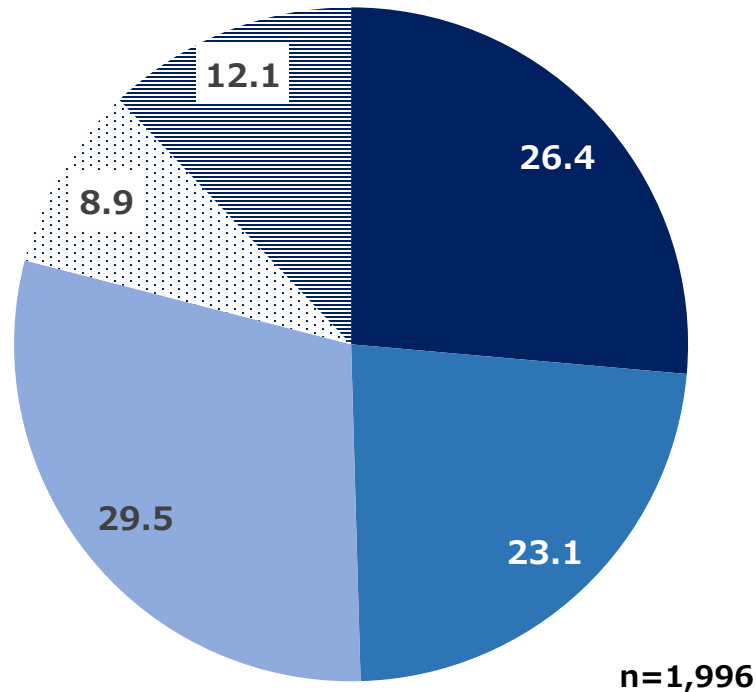


4. 「限定免許」制度導入について

- 「限定免許」制度導入の賛否を尋ねたところ、賛成（「賛成である」及び「どちらかという賛成である」の合計）が49.5%と約半数を占め、反対（「反対である」及び「どちらかという反対である」の合計、21.0%）を大きく上回った。

「限定免許」制度導入に対する賛否

Q: 運転者本人の申請により、運転できる時間、場所、車両等を限定する「限定免許」制度を導入することについてどう思いますか



- 賛成である
- どちらかという賛成である
- どちらともいえない
- どちらかという反対である
- ≡ 反対である

左記の回答理由（抜粋）

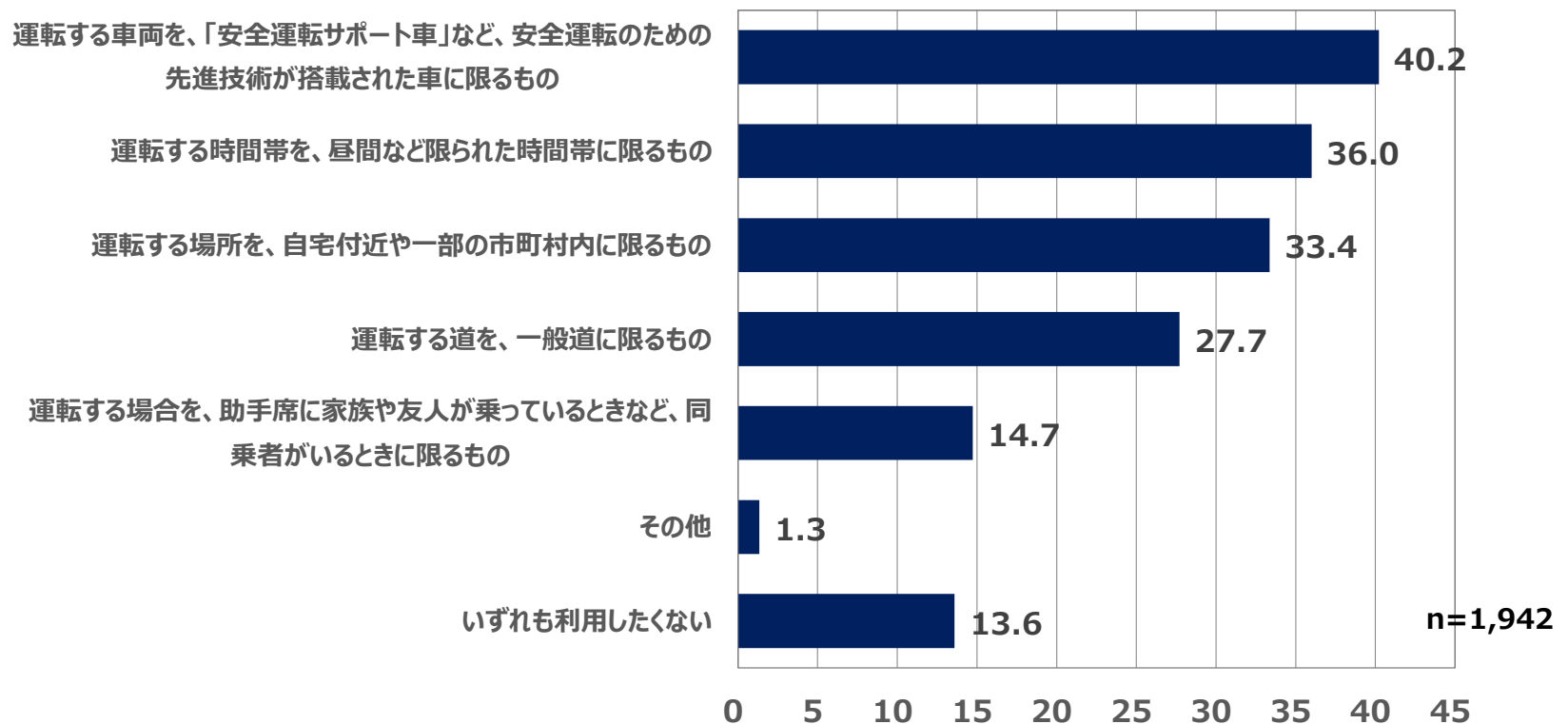
賛成	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 夜間や日差しが強い時間、雨天時などに運転する自信がない ✓ 全面的に免許を返納すると生活に不便があるが、必要時の運転が可能となる制度であれば良い ✓ 「本人の申請」という条件が付けば導入しても良い ✓ 個人の運転特性や年齢等に応じて限定すべき条件を設定したり変更できる仕組みがあれば良い ✓ 「限定免許」制度により、高齢者の事故を減らせることが検証できれば導入することに賛成である
反対	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 限定することで得られるメリットが感じられない ✓ 生活に困るシーンが想定され、不便になる ✓ 緊急時などやむを得ない場合に対応できなくなることは危険に感じる ✓ 運転ができないと認識すれば自ら返納する ✓ 運転特性や生活環境等が個人によって様々であるため、限定する条件を設定することは難しい ✓ 安全確保のためには、不安に感じる場合は「限定免許」制度ではなく免許返納や取消が必要ではないか

4. 「限定免許」制度導入について

- 「限定免許」制度が導入された場合に設定したい条件を尋ねたところ、「先進技術が搭載された車に限る」が40.2%と最も多く、次いで「時間帯を限定する」（36.0%）、「場所を限定する」（33.4%）と続いた。

「限定免許」制度において設定したいと考える条件

Q: 運転者本人の申請による「限定免許」制度が導入された場合、具体的にどのような条件を付けたいと思いますか。
(複数回答可)

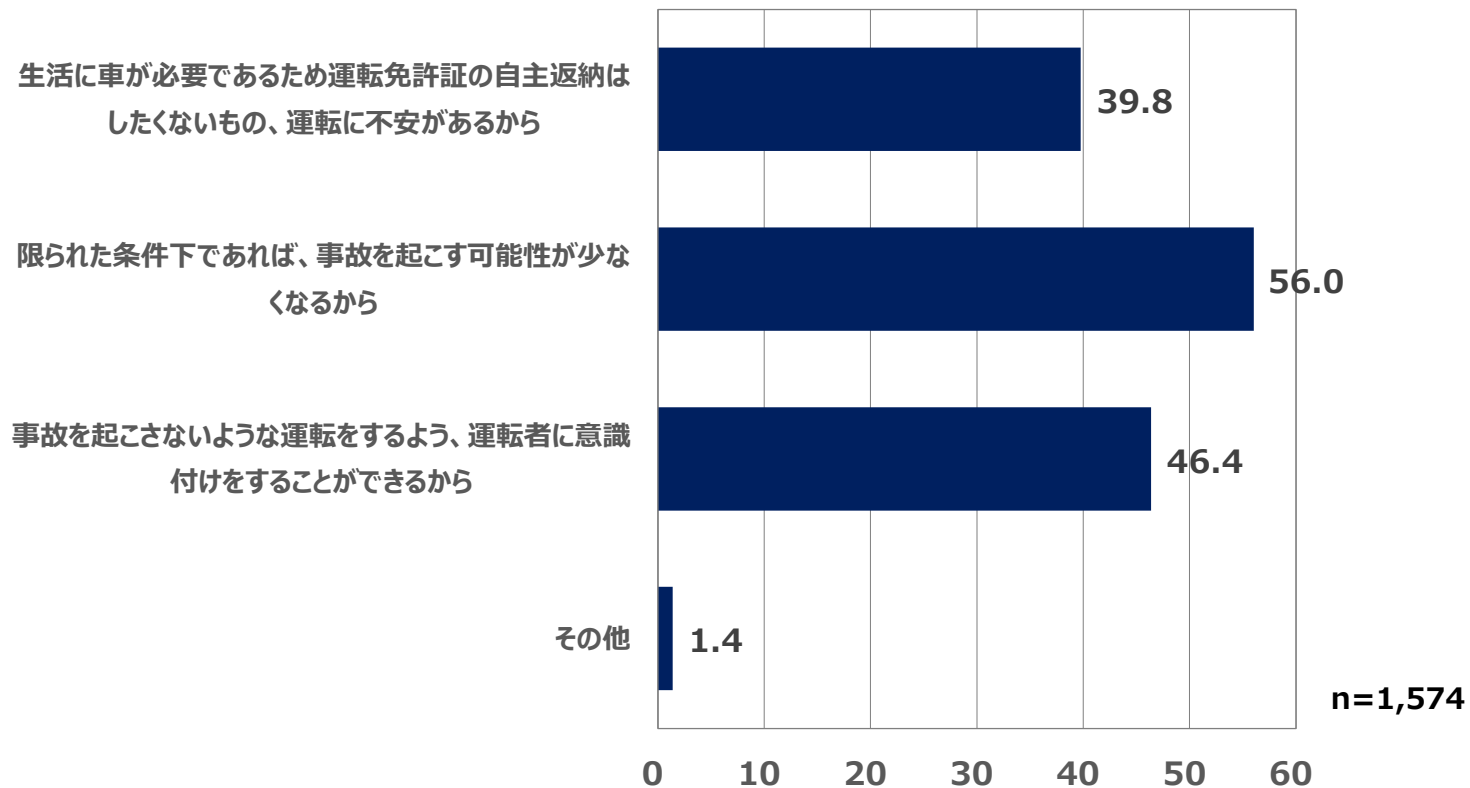


4. 「限定免許」制度導入について

- 前設問で回答した条件を付けたい理由を尋ねたところ、「限られた条件下であれば、事故を起こす可能性が少なくなる」との回答が56.0%と最も多く、次いで「事故を起こさないような運転をするよう、運転者に意識付けをすることができる」が46.4%と続いた。

条件を付けたい理由

Q:前設問で、回答いただいた条件を付けたいと思うのはなぜですか（複数回答可）

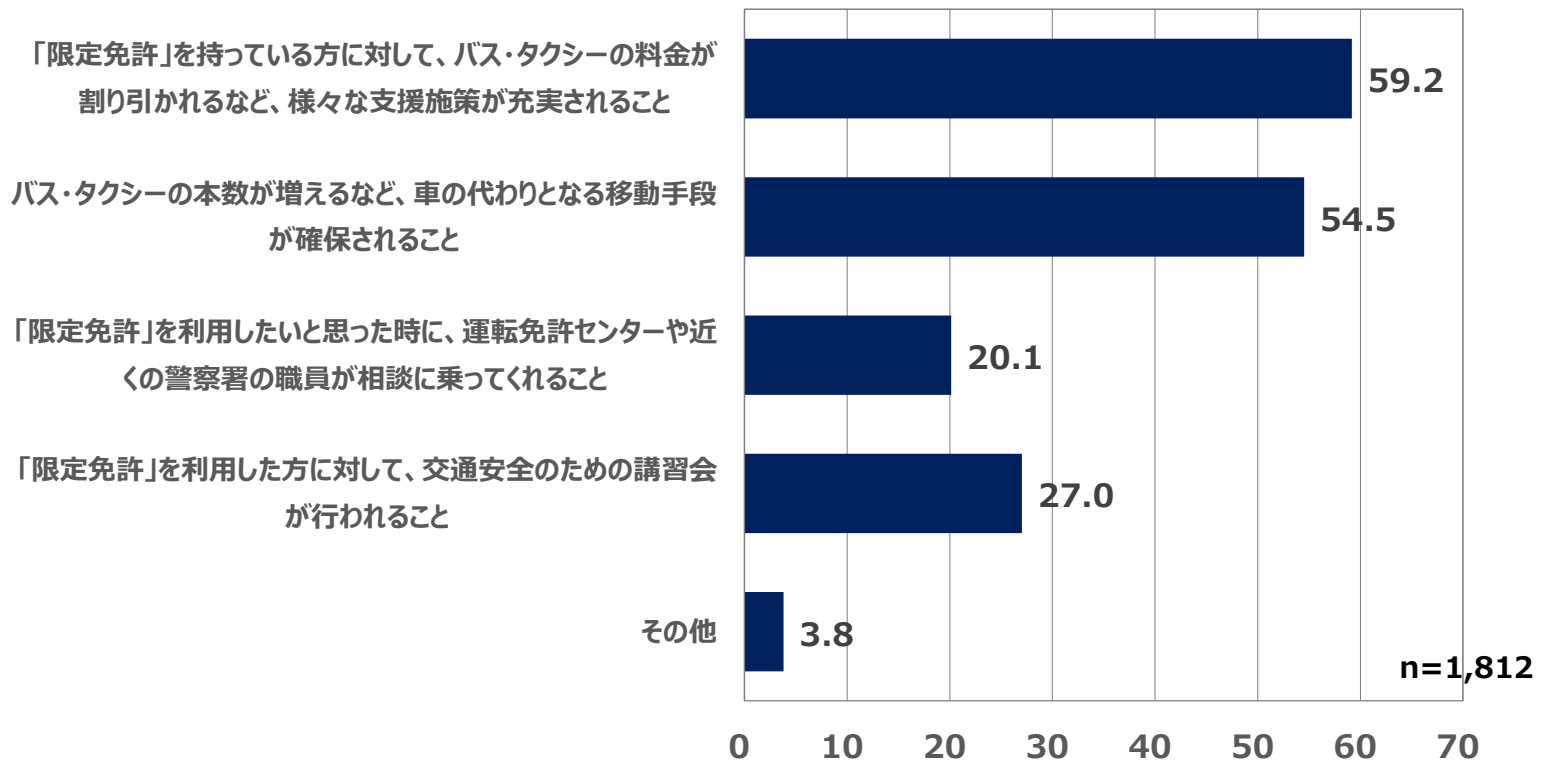


4. 「限定免許」制度導入について

- どのような環境が整備されれば「限定免許」制度を利用したいと思うかを尋ねたところ、「公共交通機関の料金が割り引かれるなどの支援策の充実」が59.2%、「バス・タクシーの本数が増えるなど代わりとなる移動手段の確保」が54.5%と、車の無い生活を支える施策に対する需要が高い傾向となった。

「限定免許」制度を利用するために必要な環境整備

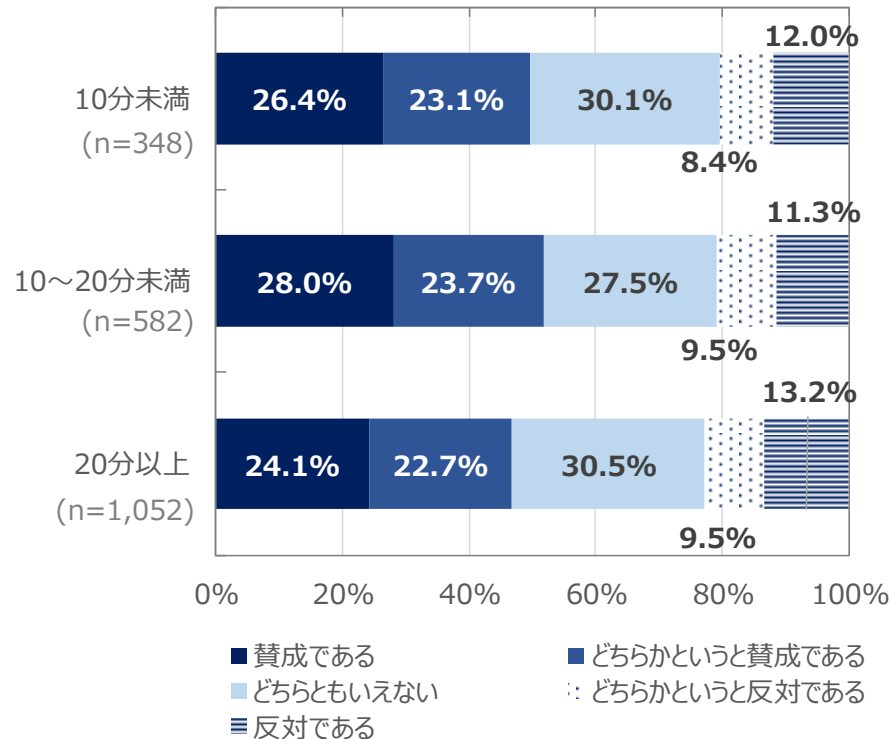
Q:どのような環境が整備されれば、運転者本人の申請による「限定免許」制度を利用したいと思いますか
(複数回答可)



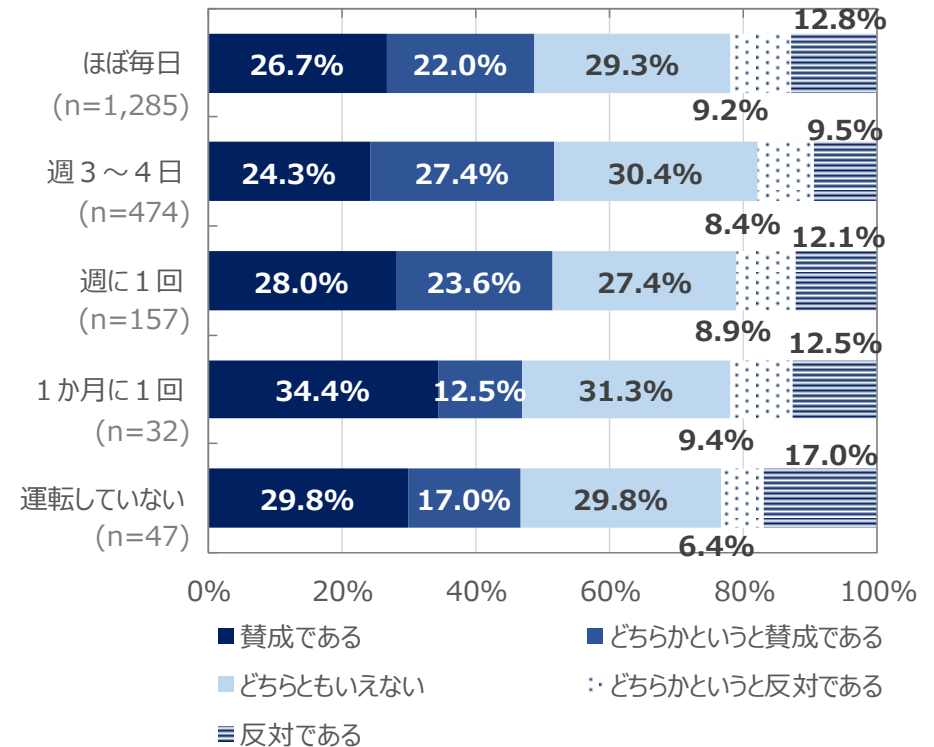
4. 「限定免許」制度導入について

- 「限定免許」制度導入の賛否について、回答者の属性等別に分析を実施した。
- 公共交通機関への移動時間及び普段の運転状況別にみると、制度導入の賛否には大きな差異は見られなかった。

公共交通機関への移動時間別に見た制度の賛否



普段の運転状況別に見た制度の賛否

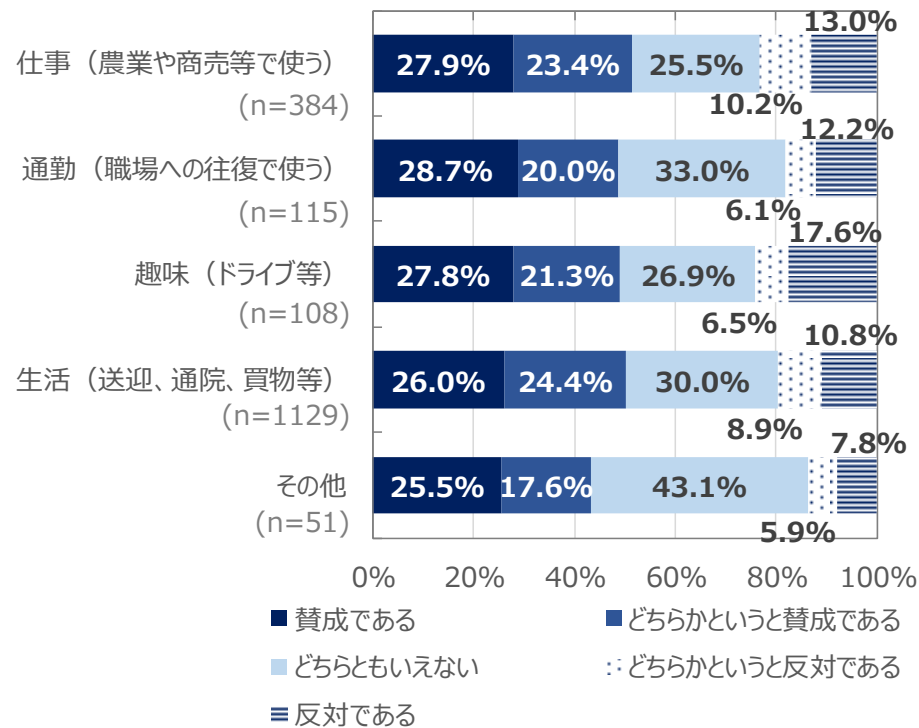


*1か月に1回や運転していないとの回答は、n数が少ないため他回答との定量的な評価は未実施

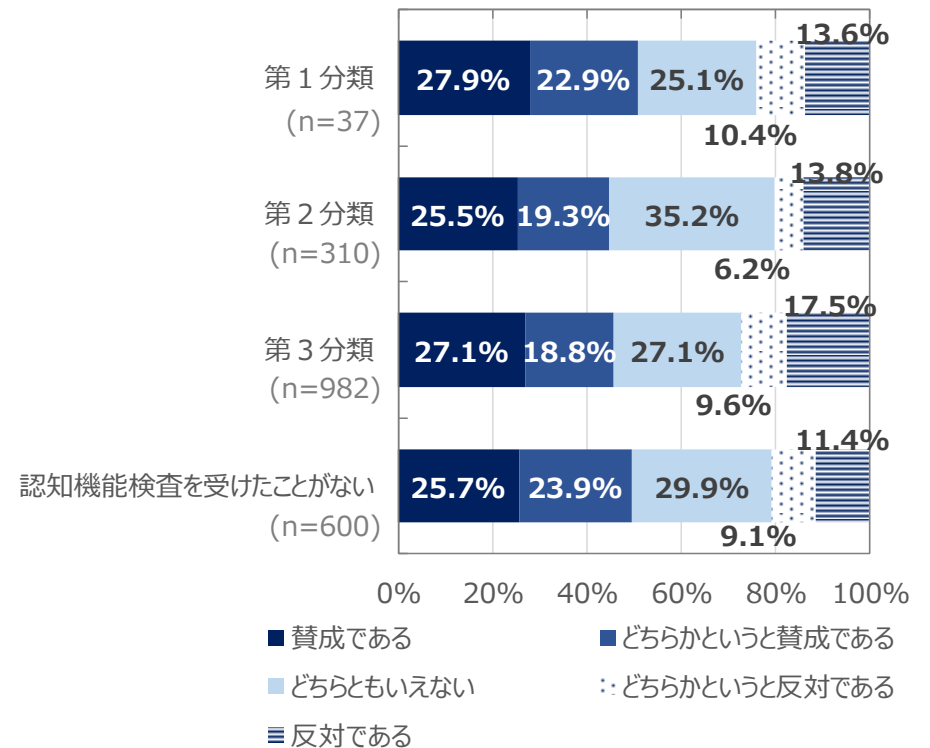
4. 「限定免許」制度導入について

- 「限定免許」制度導入の賛否を、回答者の運転する主な目的、及び認知機能検査の結果別にみると、制度導入の賛否には大きな差異は見られなかった。

運転する主な目的別に見た制度の賛否



認知機能検査の結果別に見た制度の賛否

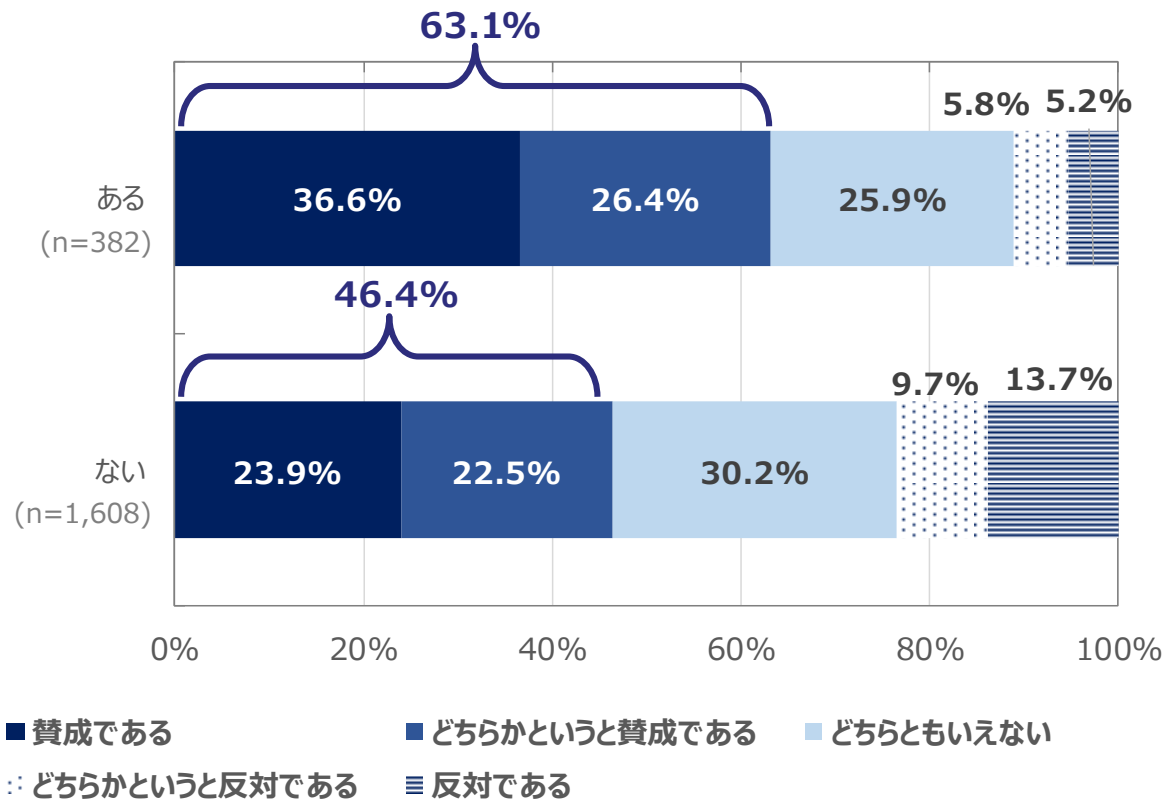


*第1分類との回答は、n数が非常に少ないため他回答との定量的な評価は未実施

4. 「限定免許」制度導入について

- 「限定免許」制度導入の賛否を、運転免許の自主返納の検討有無別に見ると、運転免許の自主返納を考えたことが「ある」と回答した回答者のほうが「限定免許」制度に賛成と回答する割合が高い結果が得られた。

運転免許の自主返納の検討有無別に見た制度の賛否



4. 「限定免許」制度導入について

- 「限定免許」制度に求める条件について、運転に関する不安別に分析した結果は以下のとおり。

自身の運転に関する不安別に見た「限定免許」制度に求める条件

		「限定免許」制度が導入された場合、必要だと思う条件						
		先進技術が搭載された車に限る	限られた時間帯に限る	自宅付近や一部の市町村内に限る	一般道に限る	同乗者がいるときに限る	その他	いずれも利用したくない
道や目的地を忘れるなど、もの忘れが多くなった	(n=126)	43.7%	34.1%	26.2%	23.0%	18.3%	1.6%	10.3%
信号や一時停止線を見落とすようになった	(n=116)	41.4%	45.7%	40.5%	29.3%	16.4%	2.6%	8.6%
道路の左端やセンターラインに寄りすぎるようになった	(n=175)	42.9%	45.1%	40.6%	26.9%	21.7%	0.0%	6.9%
行ったことがない場所で運転するのが怖くなった	(n=570)	40.2%	45.6%	42.1%	34.6%	14.9%	1.6%	8.1%
高速道路で運転するのが怖くなった	(n=489)	36.0%	43.4%	45.2%	40.1%	14.3%	1.6%	8.2%
日中に標識の内容や歩行者が見えにくくなった	(n=60)	45.0%	46.7%	40.0%	25.0%	15.0%	1.7%	16.7%
夜間など暗いところで標識の内容や歩行者が見えにくくなった	(n=820)	41.0%	45.6%	37.1%	29.3%	15.4%	1.3%	9.8%
視野が狭くなった	(n=367)	42.8%	43.3%	33.8%	25.6%	18.8%	1.1%	9.3%
耳が聞こえにくくなった	(n=278)	38.5%	37.8%	38.8%	32.7%	15.8%	2.5%	12.2%
危ないと思った時に素早くブレーキやハンドルを操作することができなくなった	(n=105)	50.5%	48.6%	41.9%	39.0%	21.0%	1.0%	5.7%
ブレーキとアクセルを踏み間違えることがある	(n=41)	36.6%	39.0%	39.0%	24.4%	29.3%	0.0%	9.8%
急ブレーキ・急発進が多くなった	(n=51)	41.2%	47.1%	49.0%	33.3%	21.6%	0.0%	7.8%
ハンドルの操作がうまくできず、右左折がしにくくなった	(n=47)	44.7%	59.6%	57.4%	42.6%	19.1%	2.1%	4.3%
首や腰が回りにくくなり、左右の安全確認がしにくくなった	(n=253)	43.9%	41.1%	33.2%	32.8%	17.8%	2.4%	11.5%
バックでの車庫入れ・駐車がしにくくなった	(n=615)	41.3%	41.0%	34.1%	30.1%	17.1%	1.5%	9.3%
その他	(n=18)	44.4%	33.3%	22.2%	16.7%	11.1%	11.1%	5.6%
自分の運転に不安を感じていない	(n=366)	38.3%	20.8%	25.4%	16.9%	12.0%	1.1%	25.4%
回答者平均	(n=1942)	40.2%	36.0%	33.4%	27.7%	14.7%	1.3%	13.6%

*橙のハッチングは回答者平均より10%以上、緑のハッチングは同平均より10%以下、灰のハッチングはn数が少量の層

(参考) 回答者平均との差異

自身の運転に関する不安別に見た「限定免許」制度に求める条件（回答者平均との差異）

		「限定免許」制度が導入された場合、必要だと思う条件						
		先進技術が搭載された車に限る	限られた時間帯に限る	自宅付近や一部の市町村内に限る	一般道に限る	同乗者がいるときに限る	その他	いずれも利用したくない
道や目的地を忘れるなど、もの忘れが多くなった	(n=126)	3.4%	-1.9%	-7.2%	-4.7%	0.2%	0.2%	-3.3%
信号や一時停止線を見落とすようになった	(n=116)	1.2%	9.7%	7.1%	1.6%	0.2%	0.2%	-5.0%
道路の左端やセンターラインに寄りすぎるようになった	(n=175)	2.6%	9.1%	7.2%	-0.8%	0.2%	0.2%	-6.7%
行ったことがない場所で運転するのが怖くなった	(n=570)	0.0%	9.6%	8.7%	6.9%	0.2%	0.2%	-5.5%
高速道路で運転するのが怖くなった	(n=489)	-4.2%	7.4%	11.8%	12.4%	-0.4%	0.3%	-5.4%
日中に標識の内容や歩行者が見えなくなった	(n=202)	4.8%	10.7%	6.6%	-2.7%	0.3%	0.3%	3.1%
夜間など暗いところで標識の内容や歩行者が見えなくなった	(n=202)	0.8%	9.6%	3.7%	1.6%	0.6%	0.0%	-3.8%
視野が狭くなった	(n=202)	2.6%	7.3%	0.4%	-2.1%	4.1%	-0.2%	-4.3%
耳が聞こえにくくなった	(n=202)	-1.7%	1.8%	5.5%	5.0%	1.1%	1.2%	-1.4%
危ないと思った時に素早くブレーキやハンドルを操作することができなくなった	(n=105)	10.3%	12.6%	8.5%	11.3%	6.2%	-0.4%	-7.9%
ブレーキとアクセルを踏み間違えることがある	(n=41)	-3.6%	3.0%	5.7%	-3.3%	14.5%	-1.3%	-3.8%
急ブレーキ・急発進が多くなった	(n=51)	1.0%	11.1%	15.7%	5.6%	6.8%	-1.3%	-5.8%
ハンドルの操作がうまくできず、右左折がしにくくなった	(n=47)	4.5%	23.6%	24.1%	14.8%	4.4%	0.8%	-9.3%
首や腰が回りにくくなり、左右の安全確認がしにくくなった	(n=253)	3.7%	5.1%	-0.2%	5.1%	3.1%	1.0%	-2.1%
バックでの車庫入れ・駐車がしにくくなった	(n=615)	1.1%	5.0%	0.8%	2.4%	2.3%	0.1%	-4.3%
その他	(n=18)	4.2%	-2.7%	-11.1%	-11.0%	-3.6%	9.8%	-8.0%
自分の運転に不安を感じていない	(n=366)	-2.0%	-15.2%	-8.0%	-10.8%	-2.7%	-0.2%	11.8%

運転場所に関して不安を持つ回答者は、それを条件として求める傾向

運転操作に不安を感じる回答者は先進技術搭載車両を条件として求める傾向

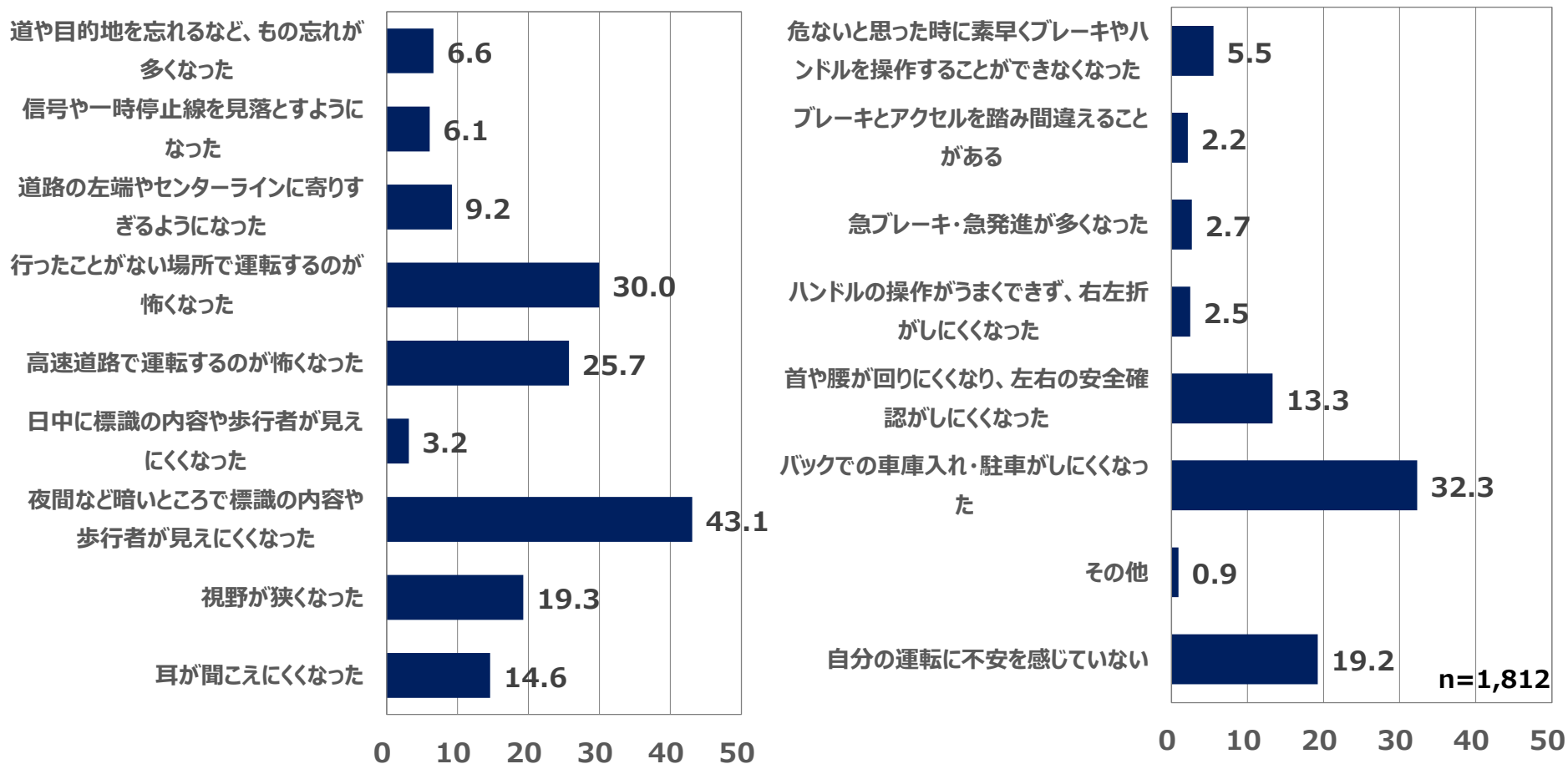
*橙のハッチングは回答者平均より10%以上、緑のハッチングは同平均より10%以下、灰のハッチングはn数が少量の層

5. 運転に関する不安

- 自身の運転に関する不安を尋ねたところ、「夜間や暗いところでの視認性の悪化」が43.1%と最も多く、次いで「バックでの車庫入れ・駐車」(32.3%)、「行ったことが無い場所での運転」(30.0%)、「高速道路での運転」(25.7%)と続いた。

自身の運転に関する不安

Q:自分の運転について、具体的にどのような不安を感じていますか（複数回答可）



5. 運転に関する不安

- 運転を不安に感じるきっかけを尋ねたところ、「事故を起こしそうになり、ヒヤリ・ハッとしたとき」が61.5%と最も多く、次いで「高齢者講習で指導を受けたとき」（25.9%）、「家族や知人から運転が危ないと言われたとき」（22.3%）と続いた。

不安を感じたきっかけ

Q:何をきっかけに、自分の運転に不安を感じましたか（複数回答可）

